ゆうかり便り

静岡徳洲会病院会報誌　yuukari-dayori

5.6
June/July
vol.137

院長よりあいさつ

院長
山之上 弘樹

4月に当院は、多くの新入職員を迎えました。若い力は当院の、そして地域の将来にとっての宝であります。大切に育成して参ります。

本年も日本と世界が新型コロナウイルス感染症で大きな影響を受けている中での新入職員の入職となりました。例年開催されている新人歓迎会も2年連続で中止となってしまいました。これまで大人数が集まって開催されていた会議や勉強会も、多くがリモートで行われるようになっています。私自身も、この1年間新幹線に乗る頻度が以前の10分の1以下になっていました。このような状況は1年前には予想もできませんでした。リモートで行われるようになって、良かった事もありますが、直接対面の方が良かった点ももちろんあります。これからの暮らしがコロナ以前の世界に戻るのか、このまま新しい生活様式に移行していくのか非常に難しい課題です。

いずれにしても新型コロナウイルス感染症流行の現状を変える鍵の一つはワクチンでしょう。ワクチン接種は少しずつですが始まっています。副反応も伝え聞きますが、現時点では接種のメリットの方が大きいと考えています。

当院も院内でワクチン接種を行います。多くの方にワクチンを打っていただきたいと思います。

基本理念

生命だけは平等だ！

生命を安心して預けられる病院
健康と生活を守る病院

医療法人 沖縄徳洲会　　院長　山之上 弘樹

静岡徳洲会病院

診療科目　内科・外科・小児科・神経内科・形成外科
泌尿器科・歯科口腔外科・整形外科・循環器内科
脳神経外科・婦人科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・心臓血管外科

診療時間　急患は年中無休・24時間
いつでもお受けします（内科）

午前	診療受付　平日・土曜	8:00～12:00
夕方	診療受付　平日のみ	16:30～18:00
	入院面会時間	現在面会禁止中です。

病院ホームページはこちら

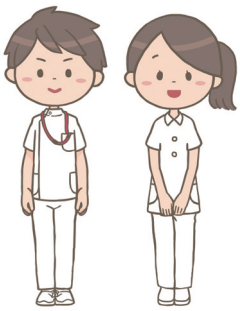
公共交通機関での来院の場合

お車でお越しの方　無料駐車場210台有

タクシー　JR東海道線「安倍川駅」より約10分

バス　JR東海道線「静 岡 駅」より約25分　中原池ヶ谷線「徳洲会病院」行き
静 岡 鉄 道「新静岡駅」より約30分　東新田下川原線「徳洲会病院」行き

医療法人 沖縄徳洲会
静岡徳洲会病院　広報室
web-shizuoka@tokushukai.jp
〒421-0193　静岡県静岡市駿河区下川原南11番1号　TEL 054-256-8008（代表）FAX 054-256-8020



新しい仲間を迎えました！！

2021年4月1日（木）静岡徳洲会病院では新たな仲間を迎えました。
看護師24名、看護補助者1名、介護福祉士1名、診療放射線技師2名、臨床検査技師1名、臨床工学技士3名、理学療法士4名、作業療法士1名、管理栄養士1名、社会福祉士1名、保育士1名、事務員8名、合計48名の入職がありました。

新入職オリエンテーションを行いました！

4月1日（木）と2日（金）の2日間にわたり、2021年度入職者オリエンテーションを行いました！

1日目はホスピタリティ研修、2日目に倫理、接遇、医療安全、感染対策などを学び、1日目で行ったホスピタリティ研修では、新入職員同士が２人１組になり、当院から用宗港までウォークラリーを行いました。

このホスピタリティ研修では、ウォークラリーを行っている間に、ペアの相手とコミュニケーションをとり、情報を聞き出すとともに、これから同じ病院で働く仲間としての信頼関係を築く良いきっかけになりました。

２日目の研修では、医療従事者としての倫理観、接遇マナー、医療安全、感染対策について各分野に精通した職員が、新入職員に医療従事者としての自覚をしてもらう機会になりました。

新入職員は今回のオリエンテーションを受け、地域の医療に貢献したいと強い意志を持ちました。

新入職員を迎え、更に患者様、地域の皆様に安心してご来院頂けるよう職員一同努力を重ねて参ります。

「ゆうかり看・看ネット」第３回研修会を開催しました！

静岡徳洲会病院　看護部長　西郷美智子

３月13日（土）静岡県看護協会会長をお迎えし、「ゆうかり看・看ネット」第３回研修会「テーマ：新型コロナウイルスクラスターからの教訓」を開催しました。昨年末から1月にかけ当院で発生した、新型コロナウイルスの院内クラスター発生から終息に向けて、その怖さや対策を、地域の皆様にお知らせすることで、今後の対策に役立てていただきたいと考えました。特別養護老人ホームからは、利用者の方のPCR陽性者が発生したときの対応方法、病院からはクラスター発生中の各部署でそれぞれの立場からの体験を報告しました。

新型コロナウイルス感染は、発症3日前から他人への感染が始まっていること。対策は飛沫感染と接触感染を防止することであり、手指消毒の徹底、マスクの励行、日頃からの5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）の重要性、また濃厚接触者をつくらないための取り組みとして、食事中のマスクを外しての会話は禁止、黙食、密接、密閉、密集の重要性の確認ができました。参加者のアンケート結果からは、実践からの学びがリアルでわかりやすい、病院で行っていることがとても専門的で参考になった、スタッフの意識改善になる情報があったなど、前向きな意見が多数聞かれました。

今回の研修会では地域の看護職の皆さんと顔の見える関係を作ると共に、目に見えない敵といかに戦うかを情報共有することで、それぞれの施設で対策を講じ、ともに地域住民の安心できる環境を守っていくことの使命を共有できました。今後も地域の看護職の力を発揮し地域住民の皆様の健康と生活を守るために努力していきたいと思います。

お詫びと訂正

前回のゆうかり便り号外「地域の皆様からご支援を頂きました！」のページの田形青果（株）様の企業名の表記が誤っていました。関係者の方々にはご迷惑をお掛け致しました。ここに訂正し、お詫び申し上げます。